

環境経営レポート2023

対象期間 2023年3月1日～2024年2月29日（1年間）



CHIYODA
EISEIKOUGYOU

千代田衛生興業有限公司

発行 2024年4月30日

はじめに

当社は、大掛山から流れる石井谷川下流の山麓に至る自然豊かな地域で事業を推進してきました。

2008年環境経営に取り組み始め、一層の環境パフォーマンスの向上を図っていく事により、二酸化炭素排出量や廃棄物排出量・総排出量等の削減をはかり、経費削減ならびに生産性の向上を目標に掲げた積極的な環境経営を目指すべきとの結論に至り、2016年環境方針を改訂しました。

私たち人類に便利で快適な暮らしをもたらしましたが、その一方で、自然環境に多大な負荷を与え、そのために社会経済と自然環境のバランスが崩れ、地球の温暖化や資源の枯渇など、このままでは人類の生存そのものが脅かされる可能性も指摘されております。

地域の皆様の生活とこの町の水環境を支える仕事を継続・安定的に行う責任を自覚し、そうした一員としてエコアクション21に取り組んでおります。

エコアクション21の認証を通じ、全社員が自覚と責任を持ち環境保全向上に努めることを最重要課題として行動し、日々の業務に努めていきます。

I. 組織の概要

会社概要

- 事業所名 千代田衛生興業有限会社
- 代表者 本 長 康 洋
- 所在地 〒731-1525
広島県山県郡北広島町石井谷746番地2
TEL 0826-72-3067 FAX 0826-72-5803
- 創業 1961年 4月
- 資本金 500万円
- 従業員 29 名
- 建屋面積 778㎡
- 事業内容
 - ・ 一般廃棄物収集運搬業
 - ・ 浄化槽保守点検・清掃業・設置工事
 - ・ 下水道及び水処理施設維持管理
 - ・ テレビカメラ管内調査
 - ・ 下水道処理施設及び農業集落排水処理施設の維持管理・洗浄・調査・補修
 - ・ 各種産業廃棄物の収集・運搬（固形・汚泥・粉体）
 - ・ プラント清掃
 - ・ 一般建設業（土木工事・とび土木・浚渫工事・電気工事・管工事・機械器具設置工事）
 - ・ 古物商
- 売上高 51300万円
- 取引先金融機関 広島銀行千代田支店 もみじ銀行千代田支店
広島市信用組合千代田支店・大朝支店
JA広島北部千代田支店 JA広島安佐豊平支店・久保角支店



■ 沿革	昭和36年	本長 茂 創業（初代）
	昭和42年	し尿処理場が完成し山県東中部福祉衛生組合から一般廃棄物処理業の許可を受ける
	昭和52年	千代田衛生興業有限会社を設立
	昭和61年	浄化槽の維持管理業務を開始
	平成4年	公共下水道処理施設の運転管理業務を開始
	平成6年	産業廃棄物収集・運搬業の許可を受ける
		管路施設の清掃・調査業務を開始
	平成9年	農集集落排水水処理施設の運転管理業務を開始
	平成19年	建設物飲料水貯水槽清掃業を開始
	平成20年	エコアクション21認証取得（環境省）
	平成23年	ハウスクリーニング業を開始
	平成24年	一般建設業を開始
	平成28年	資本金を500万に増資
	平成29年	下水道処理施設維持管理業者登録
	令和4年	一般建設業「機械器具設置工事」を追加
	令和5年	光硬化工法協会入会

■ 環境保全関係の責任者及び担当者の氏名

環境管理責任者	施設管理課	成清文人	副責任者	大田和樹 矢舗田祐二
EA事務局 担当責任者	事務グループ 業務 第一課	福山実	第二課	宮上賢
担当責任者	施設管理課	小早川悠一	第二課	隅中裕幸

■ 事業概要

【1】各事業における許認可

許可証及び登録証	発行元	許可・登録番号	許可年月日	許可期限
一般廃棄物処理業	広島県北広島町	北広島町許可第液1号	R4.4.1	R8.3.31
浄化槽清掃業	広島県北広島町	北広島町許可第浄1号	R4.4.1	R8.3.31
浄化槽保守点検業	広島県	県 60 第 0401号	R4.1.1	R6.12.31
建築物貯水槽清掃業	広島県	広島県19貯第50277号	R1.12.18	R7.12.17
下水道施設維持管理	広島県	処29-907	R4.3.30	R9.3.29
浄化槽工事業	広島県	第 1392号	H27.9.8	変更がある時に提出
排水設備指定工事店	広島県北広島町	第 00158号	R4.3.30	R11.3.31
給水装置工事指定店	広島県北広島町	第 141号	R4.3.30	変更がある時に提出
建設業	広島県	第 36027号	R4.1.23	R9.1.22
古物商	広島県	731160700003	R4.3.30	変更がある時に提出

産業廃棄物収集・運搬業

管 轄	許可番号	事業範囲 (品目)	許可年月日	許可期限
広島県	第3404017465号	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、ソリットくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた物を除く。）、陶磁器くず、鋳さい、がれき類及び動物のふん尿（これらのうち廃プラスチック類、廃石膏ボード、廃容器包装、石綿含有産業廃棄物及び水銀使用製品産業廃棄物を含み、廃プラスチック管、鉛蓄電池の電極、鉛製の管又は板、自動車等破碎物、水銀含有ばいじん等、判定基準に適合しないもの及び特別管理産業廃棄物であるものを除く。）	H31.4.18	R11.4.17
鳥取県	第3200017465号	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず等、鋳さい、がれき類、家畜ふん尿（石綿含有産業廃棄物、特別管理産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物及び水銀含有ばいじん等であるものを除く）	R5.1.15	R10.1.14

管 轄	許可番号	事業範囲 (品目)	許可年月日	許可期限
山口県	第3200017465号	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、 廃プラスチック類、コンクリートくず 陶磁器くず、ばいじん 紙くず、木くず、繊維くず、 動植物性残さ、ゴムくず、 金属くず、ガラスくず等、鋳 さい、がれき類、家畜ふん尿 (石綿含有産業廃棄物、特別 管理産業廃棄物、水銀使用 製品産業廃棄物及び水銀含有 ばいじん等であるものを 除く)	R5.3.8	R10.3.7
島根県	第3200017465号	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、 廃珪加、廃プラスチック類、 紙くず、木くず、繊維くず、 動植物性残さ、ゴムくず、 金属くず、ガラスくず等、鋳 さい、がれき類、家畜ふん尿 (石綿含有産業廃棄物、特別 管理産業廃棄物、水銀使用 製品産業廃棄物及び水銀含有 ばいじん等であるものを 除く)	R5.7.2	R10.7.1
岡山県	第3200017465号	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、 廃珪加、廃プラスチック類、 紙くず、木くず、繊維くず、 動植物性残さ、ゴムくず、 金属くず、ガラスくず等、鋳 さい、がれき類、家畜ふん尿 (石綿含有産業廃棄物、特別 管理産業廃棄物、水銀使用 製品産業廃棄物及び水銀含有 ばいじん等であるものを 除く)	R3.9.1	R8.8.17
福岡県	第3200017465号	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、 廃珪加、廃プラスチック類、 紙くず、木くず、繊維くず、 動植物性残さ、ゴムくず、 金属くず、ガラスくず等、鋳 さい、がれき類、家畜ふん尿 (石綿含有産業廃棄物、特別 管理産業廃棄物、水銀使用 製品産業廃棄物及び水銀含有 ばいじん等であるものを 除く)	R2.5.14	R7.5.13

事業系 一般廃棄物	可燃ごみ	生ごみ、紙くず(産業廃棄物以外の物)、木くず(産業 廃棄物以外の物)
	粗大ごみ	大型食器棚・机等、通常の収集では大きすぎて対応出来 ないもののうち、木製のもの(金属製、プラスチック製 のものは産業廃棄物)
し尿	し尿	汲み取りし尿で、人の排泄行為に附帯するトイレット ペーパー類、綿類等を含む。
	浄化槽に係る 汚泥	浄化槽方式のものの槽に貯留した汚泥

【2】 設備概要

一般廃棄物 車両		産業廃棄物 車両		浄化槽保守点検 車両	
バキュームカー	7台	キャブオーバー	1台	軽四自動車	9台
		脱着装置付コンテナ専用車	1台	普通車	5台
		クレーン付トラック	1台	その他 車両	
		4t 吸引車	1台	高圧洗浄車	2台
		10t 強力吸引車	2台	カメラ搭載車	1台
				削孔車	1台
				給水車	1台



【3】 産業廃棄物の積替え保管は含まない

【4】 受託した廃棄物の処理量

処理方法等	産廃・一廃	処理及び収集・運搬量
収集・運搬	一般廃棄物	7,313.60 (t)
	産業廃棄物	1,276.87 (t)
収集・運搬量合計		8,590.47 (t)

【5】 廃棄物処理料金

収集・運搬料金及び処分料金は廃棄物の性状・数量により異なりますので詳しくはお問い合わせ下さい。

Ⅱ.対象範囲

認証・登録範囲

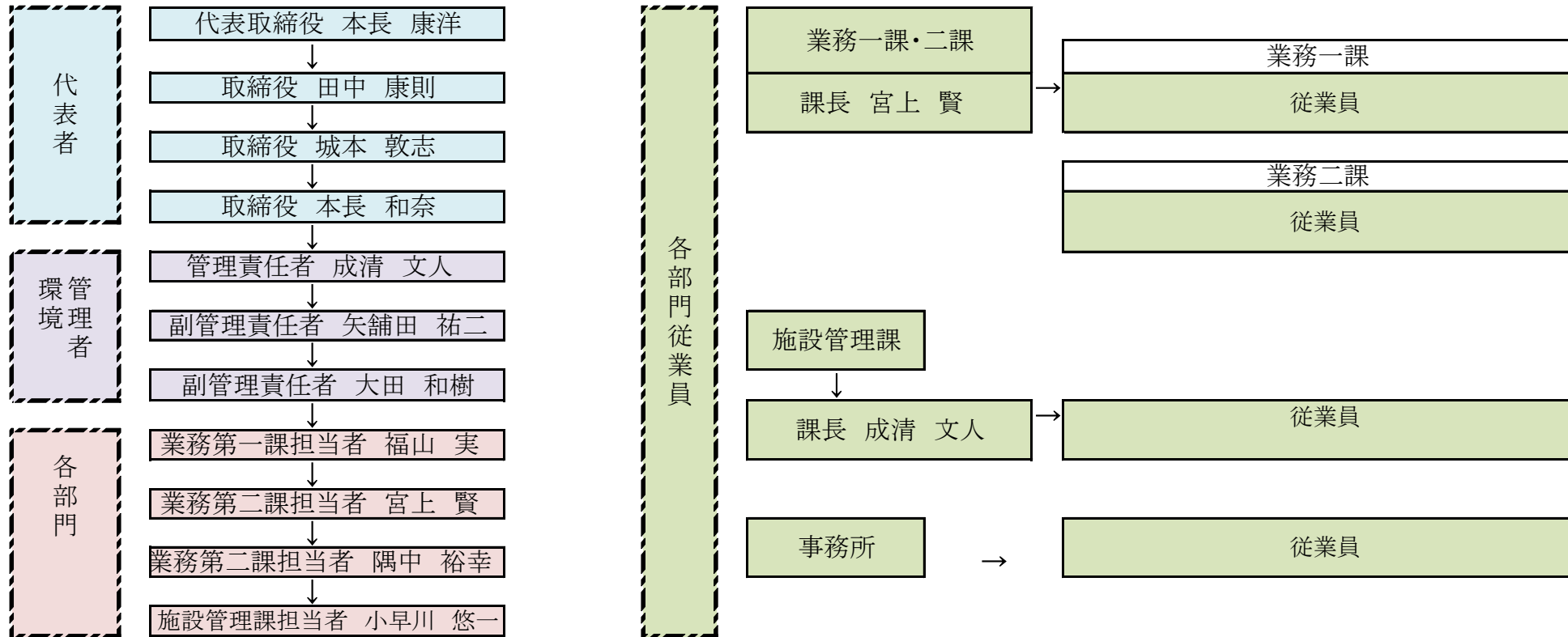
対象事業所：（全組織）本社・駐車場

対象活動：（全活動）

一般廃棄物収集運搬業、浄化槽保守点検・清掃業、排水管清掃業、貯水槽清掃業、下水道処理施設及び農業集落排水処理施設の維持管理・各種汚水処理施設運転管理業、産業廃棄物収集運搬業、下水道等管路施設の清掃・調査・修繕、ハウスクリーニング業、古物商

Ⅲ. 組織図

～ 組織体制の概要 ～



環境活動における役割と分担

	各役割担当者の権限
代表者	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施及び管理に必要な、人、設備、費用、時間・能技術者を用意 ・環境管理責任者を任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標の設定を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境活動レポートの承認
環境管理者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・法規制等の要求事項登録簿を承認 ・環境活動計画書を承認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告
副環境管理事務責任者	・環境管理責任者、EA21推進会議の事務局 ・環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・「環境関連法規等チェックリスト」の作成 ・環境目標・環境活動計画書原案の作成 ・環境活動計画の実施集計 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境活動レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
担当者	・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境目標及び環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト・訓練・記録 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置
全従業員	・環境方針の理解と、環境に対する取組の重要性を自覚 ・決められた事を守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

千代田衛生興業有限会社

環境経営方針

経営の中に環境への取り組みを位置づけ、経営における課題とチャンスを含めた環境経営を行う。

社員一同が環境経営方針に基づいて、未来の地域社会における生活環境の保全の向上に努めると共に、環境経営を確立し資源の有効活用と地球温暖化等の環境問題の解決に貢献する。

<環境保全への行動指針>

1. 環境目標を定め、定期的に見直しを行い、継続的改善に努めます。
2. 具体的な取り組みとして次のことを推進します。
 - ① 省エネを意識した日常業務の実施による二酸化炭素の排出抑制
 - ② 資源の有効利用等リサイクルの促進による廃棄物の排出抑制
 - ③ 発生した廃棄物の適正処理
 - ④ 水使用量の削減
 - ⑤ 廃棄物収集運搬における環境負荷に配慮し化石燃料排出抑制に努める
3. 環境保全活動に必要な情報伝達の仕組みを構築し全社員で共有します。
4. 企業活動を通じて、地域社会の環境保全に努めます。
5. 環境関連法規制等を遵守します。

制定日 2008年 6月 1日
改定日 2022年 3月21日

本 長 康 洋

V.環境目標

項 目		年 度	(基準年度) 2023年度	2024年度 (2024.3- 2025.2)	2025年度 (2025.3- 2026.2)	2026年度 (2026.3- 2027.2)
			実績	目標	目標	目標
電力使用量の削減	kWh /年		22,694	△1% 22,467	△1% 22,242	△1% 22,020
化石燃料の削減	ℓ /年		70,374	△1% 69,670	△1% 68,973	△1% 68,283
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂ /年		193,180	△1% 191,248	△1% 189,336	△1% 187,443
一般廃棄物排出量の削減	kg /年		1,118	△1% 1,106	△1% 1,094	△1% 1,083
一般廃棄物リサイクル率	%		20.3	20.0	20.0	20.0
産業廃棄物排出量の削減	kg /年		3,150	△1% 3,119	△1% 3,088	△1% 3,057
節水	m ³ /年		224	△1% 222	△1% 220	△1% 218

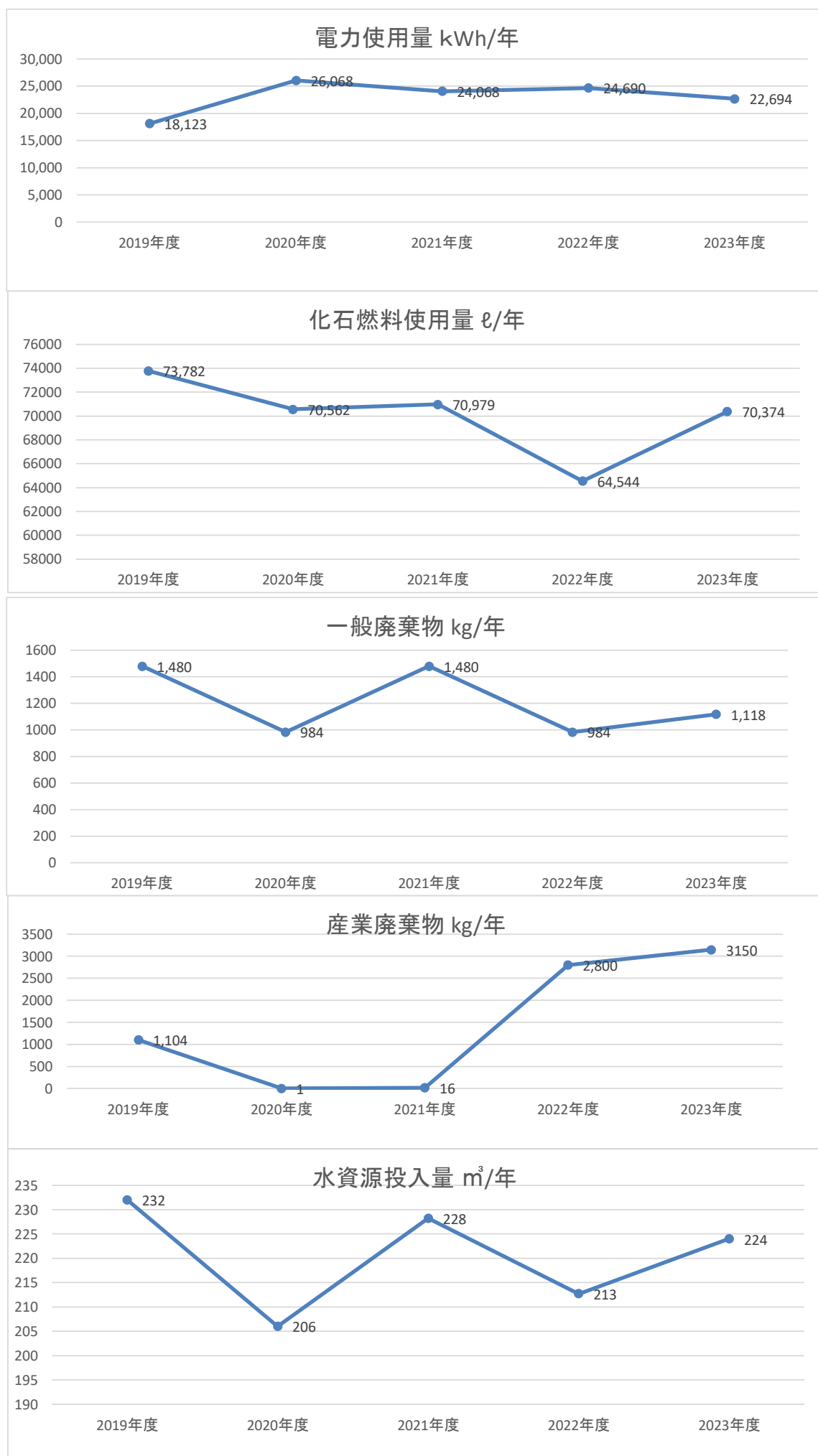
VI. 環境活動計画

大項目	項目	取組内容
二酸化炭素排出量削減	電気使用量の削減	不在時に照明の消灯 室内温度 夏季26度 冬季22度
	化石燃料の削減	車内エアコンの適正な温度設定 計画的、効果的なルート選定走行
廃棄物排出量削減	一般廃棄物の削減	マイボトル持参の推進 ペーパーレス化 ゴミの減容化
	産業廃棄物の削減	ゴミの分別 過剰仕入れの削減
節水		節水運動（車両の洗車等） 生活用水のこまめな節水
受諾した産業廃棄物の収集運搬・処理における環境配慮		エコドライブを心がける 不要なアイドリングをさける

VII.環境目標に対する実績

大項目	項 目	単 位	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素排出量	電力使用量	kWh/年	24,068	24,690	22,694
	化石燃料使用量	ℓ /年	70,979	64,544	70,374
		kg-CO ₂ /年	196,484	179,432	193,180
廃棄物等総排出量	一般廃棄物	kg/年	1,480	984	1,118
	リサイクル量	kg/年	525	196	228.2
	リサイクル率	%	34.9	9.0	20.3
	産業廃棄物	kg/年	16	2,800	3150
水資源投入量		m ³ /年	228	213	224

注：2021年度、2022年度、2023年度電力の二酸化炭素係数は、
平成30年中国電力(株)調整後排出係数0.636kg-CO₂/kWhを使用



Ⅷ. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

2023年3月1日から2024年2月29日までの1年間の目標達成状況及び環境活動計画への取組結果の評価は以下のとおりです。

環境活動計画	取組結果とその評価	今年度の反省と次年度の取組
電力使用量の削減 ・不在時に照明の消灯 ・室内温度 夏季26度 冬季20度	目標値 24,443 kWh/年 実績値 22,694 kWh/年 数値目標は達成できた	目標を達成することが出来ている。 次年度も目標を達成出来るように節電に取り組んでいく
化石燃料の削減 ・効率的なルートを選定走行 ・車内エアコンの適正な温度設定	目標値 63,908 l/年 実績値 70,374 l/年 数値目標は達成できなかった	
二酸化炭素排出量の削減 ・上記達成手段の通り	目標値 177,638 kg-CO ₂ /年 実績値 193,180 kg-CO ₂ /年 数値目標は達成できなかった	環境活動に対して、会社全体への発信をし、理解を求め、目標達成へ向けて前進していく。
一般廃棄物排出量の削減 ・マイボトル持参の推進 ・ゴミの分別 ・ペーパーレス化の取り組み（電子化の取組） ・リサイクル率20%	目標値 974 kg/年 実績値 1,118 kg/年 リサイクル率 20.3% 数値目標は達成できなかった	
産業廃棄物排出量の削減 ・廃油量の削減 ・交換工程の見直し ・リサイクル化の検討	目標値 2,772 kg/年 実績値 3,150 kg/年 数値目標は達成できなかった	目標は、達成できていない。廃棄物の分別を行い削減出来るように取り組んでいく
節水 ・節水運動徹底	目標値 211 m ³ /年 実績値 224.7 m ³ /年 数値目標は達成できなかった	
受託した産業廃棄物の収集運搬・処理における環境配慮 ・作業時間、待機時間の短縮 ・移動時最短最良コースの選択	目標 意識的に適切なルートを選択し、排ガス抑制に努める 実績 ヒヤリングの結果、適切なルート選択ができています。	次年度も継続して効率的な作業を行っていく。
	運搬実績 一般廃棄物 7314t/年 産業廃棄物 1277t/年	

IX.環境関連法規制等の順守状況

環境関連法規制等の順守状況の定期評価の結果、廃棄物処理法・浄化槽法・建築物衛生法共に逸脱はありませんでした。また、過去4年間にわたって違反や訴訟もありませんでした。

法規制等の名称	該当する要求事項	該当する設備・項目	順守評価	判定
廃棄物処理法	一般廃棄物処理業許可申請	し尿浄化槽汚泥	許可書	○
	産業廃棄物収集運搬業許可申請 産業廃棄物管理票（マニフェスト）交付	産業廃棄物	許可書	○
浄化槽法	浄化槽清掃業許可申請	浄化槽清掃保守点検	許可書	○
	浄化槽保守点検業許可申請			
建築物衛生法	貯水槽清掃業登録	貯水槽清掃	登録書	○
フロン排出抑制法	管理者の判断基準の遵守	エアコン・冷蔵庫	点検表	○
	機器廃棄時等のフロン類回収の徹底	冷凍庫		

X.代表者による全体評価と見直しの結果

日頃の活動の記録など数値化された物は結果と成果が社員全体に見えるよう掲示するなど工夫してほしい。

また、5つの大項目の中で1つを選択し強化項目として取り組む等、成果に結びつく方法も検討してメリハリをつけた活動に取り組んでほしい。